



平成22年10月25日

卓話 『民主党政権とこれからの日本』

千葉商科大学 学長

島田 晴雄 様

今日は、日本の政治とこれからの日本という話です。昨年の夏、大きな変化が起きて民主党政権が誕生しました。圧倒的な勝利で、まあ一度やらせてみようという期待だと思います。ただスタートしてみて本当に仰天したんですね、国民は。鳩山さんは党首級会談をして3党の合意を閣議に降ろすという。民主党が圧倒的な議席持っているのに、合わせて衆院にたった8議席しかない二つの党が経済と安全保障の基本を決めるという。そうかと思ったら鳩山さんがお母さまから1年に2億円もらってる。次に小沢さんの金脈問題が出て「秘書がやった。おれは知らない」。私よく知ってますけど、あの方は1万円のお金だって掌握してますよ。そうこうしてるうちに鳩山さんが、日本に外国の基地があるのはおかしい、そんなものは外国に出す、県外に出すって言った。これは沖縄の方はもう全くその通りだと思いますよ。それで、私は初めて抑止力を学びましたとかおっしゃる。これは許せないですよ。

もう一つ恐ろしいのは経済です。マニフェストどんどんやってると、実は日本は来年純債務国になっちゃうんです。それですぐいろいろのことが動くわけじゃないけど国債の価格が下がります。銀行は大量に国債抱えてますから、財務が棄損するので、どこかが売ります。それがきっかけで国債の価格が暴落します。だから財政再建、成長戦略、経済計画組まなきゃいけないのに、政権取ってから1年間何の計画も出ない。これは官僚を全く介在させないからなんです。政治家っていうのは社長とよく似てる。社長の責務は先を見て

舵を切ること、有能な従業員に仕事を与えること。この2つだけ出来たらいい。政治家も似てるんですよ。官僚をうまく使ったらものすごく働くとおもいますよ。

だって世界一のシンクタンクなんだから。

これからどうするのということですけど、いい人が沢山いるんです民主党には。この方々を助けて一緒にやろうっていう大運動を起こす必要があります。じゃあどうすればいいか。やっぱり成長力なんです。成長は基本的に3つです。1つは労働力、フルに活用する。資本をフルに活用する。技術を促進する。特に対内投資は重要です。日本は世界中で一番外から資本の入ってこない国なんです。お隣の中国でさえ鄧小平さんが、黒ネコでも白ネコでも国民を幸せにするなら誰でもいいって言ってる。外国から沢山投資が入るとウィンブルドン現象になるわけです。あれイギリスの選手なんかいないけど世界のテニスのメッカじゃありませんか。シティだってイギリスの銀行なんか2、3しかないけど最高のキャピタルマーケットでしょ。そういうふうにすると資本も人も技術も入ってくる。そういう知恵ですよ。前原さんなんかはいい思想してますけど、とにかくこれから民主党の元気のいい展望のある人を応援してやってったら日本はまだまだ可能性がある。そう思います。

